

# 野村グローバルCB投信 (マネープールファンド) 年2回決算型

## 運用報告書(全体版)

第19期(決算日2019年9月20日)

作成対象期間(2019年3月21日～2019年9月20日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

当ファンドは運用開始以来、「野村グローバルCB投信(バスケット通貨選択型)」を構成するファンドとして永らくご愛顧いただきましたが、2020年9月23日に信託期間満了を迎えます。

なお、「野村グローバルCB投信(バスケット通貨選択型)(マネープールファンド(年2回決算型)を除く)」については、2018年6月15日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2025年9月22日となりましたので、ご留意下さい。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/債券	
信託期間	2010年7月22日から2020年9月23日までです。	
運用方針	野村マネー マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として本邦通貨表示の短期有価証券に投資し、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主な投資対象	野村グローバルCB投信(マネープールファンド)年2回決算型	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバルCB投信(マネープールファンド)年2回決算型	株式への直接投資は行いません。 株式への投資は転換社債を転換したもの等に限るものとし、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額	
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率				
	円		円		%	%	百万円	
15期(2017年9月20日)	10,011		0		△0.0	61.0	—	3
16期(2018年3月20日)	10,010		0		△0.0	46.7	—	3
17期(2018年9月20日)	10,009		0		△0.0	48.2	—	3
18期(2019年3月20日)	10,007		0		△0.0	60.6	—	0.870651
19期(2019年9月20日)	10,007		0		0.0	66.3	—	0.870652

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期首) 2019年3月20日	円 10,007		% —	% 60.6	% —
3月末	10,007		0.0	63.1	—
4月末	10,007		0.0	53.2	—
5月末	10,007		0.0	64.5	—
6月末	10,007		0.0	60.7	—
7月末	10,007		0.0	56.8	—
8月末	10,007		0.0	53.0	—
(期末) 2019年9月20日	10,007		0.0	66.3	—

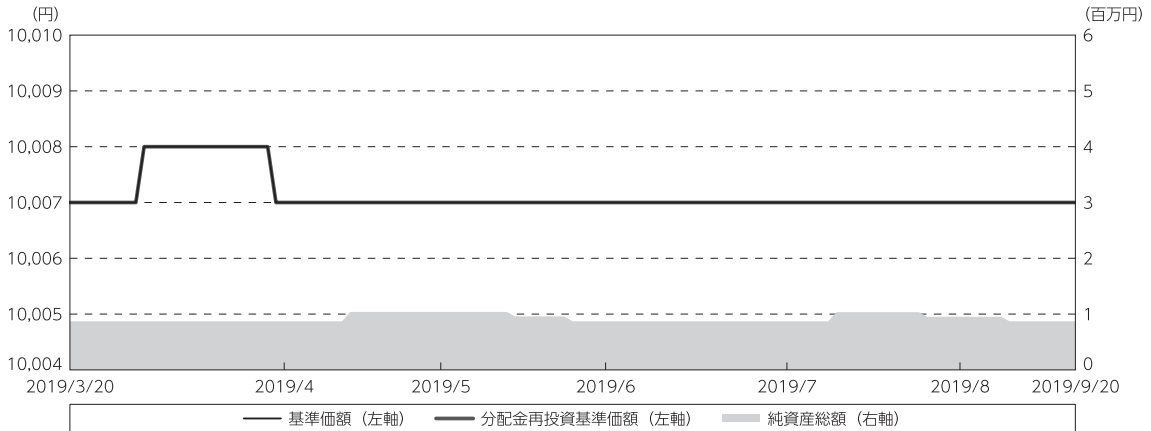
\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首：10,007円

期 末：10,007円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 0.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年3月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- ・実質的に投資している短期有価証券等からの受取利息及びマイナス金利環境を要因とする支払利息。

## ○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続いたものの、海外経済の減速から輸出や生産に弱含みの動きもみられました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2019年4月には「政策金利のフォワードガイダンス」をより明確に示すため、少なくとも2020年春頃まで現在のきわめて低い長短金利の水準を維持することとしました。

マイナス金利政策のもと、T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.1%台で推移、また、無担保コール翌日物金利は概ね-0.04~-0.07%程度で推移しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村グローバルCB投信（マネープールファンド）年2回決算型]

主要な投資対象である [野村マネー マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

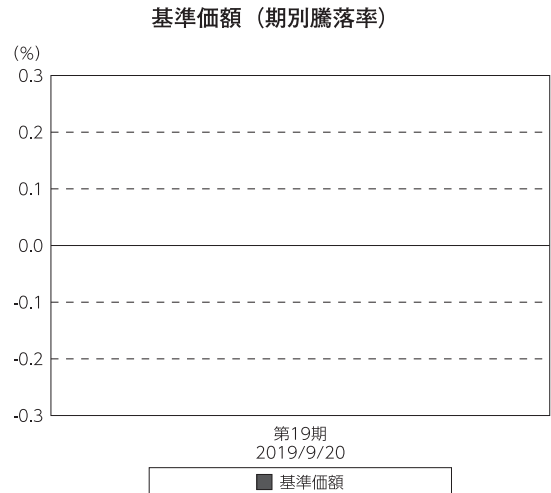
### [野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

収益分配については、マネープールファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、見送りとさせていただきます。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第19期
	2019年3月21日～ 2019年9月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	314

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### 【野村グローバルCB投信（マネープールファンド）年2回決算型】

【野村マネー マザーファンド】 受益証券への投資比率を引き続き高位に維持します。

### 【野村マネー マザーファンド】

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

※マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月21日～2019年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 0	% 0.001	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.000)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、10,007円です。			

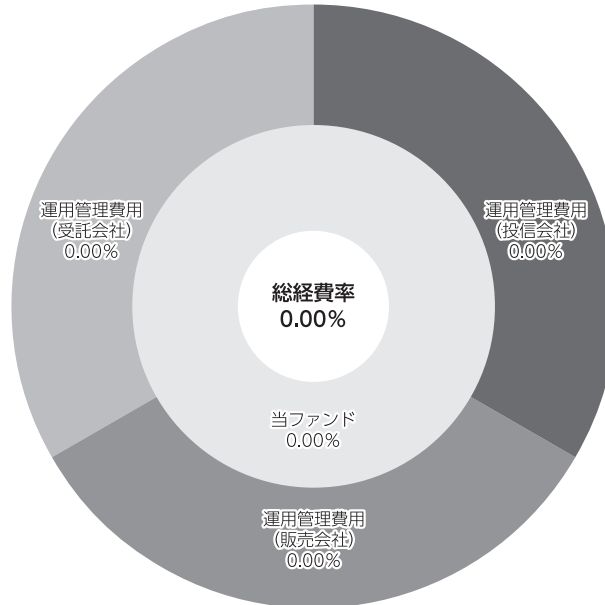
\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）****○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月21日～2019年9月20日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村マネー マザーファンド	千口 321	千円 328	千口 325	千円 331

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月21日～2019年9月20日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;野村グローバルCB投信（マネープールファンド）年2回決算型&gt;

該当事項はございません。

&lt;野村マネー マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 10,806	百万円 700	% 6.5	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2019年9月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	千口 839	千口 836	千円 853

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。



## ○投資信託財産の構成

(2019年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村マネー マザーファンド	853	98.0
コール・ローン等、その他	17	2.0
投資信託財産総額	870	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	870,652
コール・ローン等	17,114
野村マネー マザーファンド(評価額)	853,538
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	870,652
元本	870,000
次期繰越損益金	652
(D) 受益権総口数	870,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,007円

(注) 期首元本額は870,000円、期中追加設定元本額は331,590円、期中一部解約元本額は331,590円、1口当たり純資産額は1.0007円です。

## ○損益の状況 (2019年3月21日～2019年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	13
売買益	100
売買損	△ 87
(B) 当期損益金(A)	13
(C) 前期繰越損益金	△ 124
(D) 追加信託差損益金	763
(配当等相当額)	( 14,875)
(売買損益相当額)	(△14,112)
(E) 計(B+C+D)	652
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	652
追加信託差損益金	763
(配当等相当額)	( 15,017)
(売買損益相当額)	(△14,254)
分配準備積立金	12,321
繰越損益金	△12,432

\*損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年3月21日～2019年9月20日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年3月21日～ 2019年9月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,071円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	15,017円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	10,250円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	27,338円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	314円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年9月20日現在）

## &lt;野村マネー マザーファンド&gt;

下記は、野村マネー マザーファンド全体(8,294,192千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
千円	千円	%	%	%	%	%	
地方債証券	1,546,000 (1,546,000)	1,548,388 (1,548,388)	18.3 (18.3)	— (—)	— (—)	— (—)	18.3 (18.3)
特殊債券 (除く金融債)	1,570,000 (1,570,000)	1,571,701 (1,571,701)	18.6 (18.6)	— (—)	— (—)	— (—)	18.6 (18.6)
金融債券	500,000 ( 500,000)	500,207 ( 500,207)	5.9 ( 5.9)	— (—)	— (—)	— (—)	5.9 ( 5.9)
普通社債券 (含む投資法人債券)	2,100,000 (2,100,000)	2,102,309 (2,102,309)	24.8 (24.8)	— (—)	— (—)	— (—)	24.8 (24.8)
合 計	5,716,000 (5,716,000)	5,722,607 (5,722,607)	67.6 (67.6)	— (—)	— (—)	— (—)	67.6 (67.6)

\* ( )内は非上場債で内書きです。

\* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額
<b>地方債証券</b>		%	千円	千円
神奈川県 公募第169回		1.43	90,000	90,317
大阪府 公募第330回		1.48	116,000	116,031
大阪府 公募第331回		1.41	100,000	100,149
兵庫県 公募平成21年度第23回		1.37	100,000	100,103
静岡県 公募平成21年度第5回		1.35	100,000	100,107
広島県 公募平成21年度第3回		1.41	140,000	140,036
福岡県 公募平成26年度第4回		0.135	100,000	100,006
岐阜県 公募平成21年度第1回		1.35	100,000	100,140
共同発行市場地方債 公募第79回		1.34	100,000	100,132
共同発行市場地方債 公募第80回		1.54	200,000	200,512
広島市 公募平成21年度第2回		1.35	100,000	100,146
さいたま市 公募第7回		1.34	200,000	200,684
鹿児島県 公募（5年）平成26年度第1回		0.153	100,000	100,021
小 計			1,546,000	1,548,388
<b>特殊債券(除く金融債)</b>				
地方公共団体金融機構債券 第6回		1.518	460,000	461,281
首都高速道路 第14回		0.273	420,000	420,288
阪神高速道路 第15回		0.01	460,000	460,025
中日本高速道路社債 第58回		0.182	230,000	230,106
小 計			1,570,000	1,571,701
<b>金融債券</b>				
農林債券 利付第773回い号		0.24	300,000	300,077
農林債券 利付第775回い号		0.23	200,000	200,130
小 計			500,000	500,207
<b>普通社債券(含む投資法人債券)</b>				
中部電力 第492回		1.405	350,000	350,469
東北電力 第452回		1.405	100,000	100,369
九州電力 第423回		0.959	100,000	100,014
北海道電力 第319回		0.514	550,000	550,056
三菱東京UFJ銀行 第110回特定社債間限定同順位特約付		1.485	400,000	400,420
日立キャピタル 第45回社債間限定同順位特約付		0.666	100,000	100,154
三菱UFJリース 第26回社債間限定同順位特約付		0.441	200,000	200,153
三井不動産 第37回社債間限定同順位特約付		1.493	100,000	100,359
東京急行電鉄 第69回社債間限定同順位特約付		1.7	200,000	200,312
小 計			2,100,000	2,102,309
合 計			5,716,000	5,722,607

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 499,996	% 5.9

\*比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

# 野村マネー マザーファンド

## 運用報告書

第17期（決算日2019年8月19日）

作成対象期間（2018年8月21日～2019年8月19日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	中率			
13期(2015年8月19日)	円 10,206		% 0.1	% 44.7	% -	百万円 22,034
14期(2016年8月19日)	10,211		0.0	68.6	-	19,722
15期(2017年8月21日)	10,208		△0.0	64.0	-	17,754
16期(2018年8月20日)	10,206		△0.0	38.7	-	13,511
17期(2019年8月19日)	10,205		△0.0	59.3	-	8,458

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

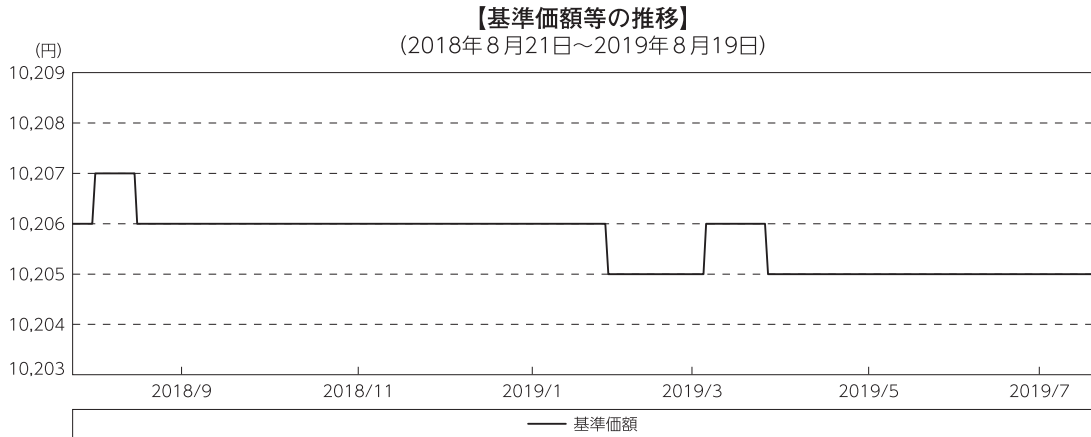
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2018年8月20日	円 10,206		% -	% 38.7	% -
8月末	10,207		0.0	40.6	-
9月末	10,206		0.0	52.5	-
10月末	10,206		0.0	53.1	-
11月末	10,206		0.0	41.5	-
12月末	10,206		0.0	51.0	-
2019年1月末	10,206		0.0	51.1	-
2月末	10,205		△0.0	55.7	-
3月末	10,205		△0.0	64.2	-
4月末	10,205		△0.0	54.0	-
5月末	10,205		△0.0	65.5	-
6月末	10,205		△0.0	61.8	-
7月末	10,205		△0.0	57.8	-
(期末) 2019年8月19日	10,205		△0.0	59.3	-

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

## ○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続いたものの、海外経済の減速から輸出や生産に弱含みの動きもみられました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2019年4月には「政策金利のフォワードガイダンス」をより明確に示すため、少なくとも2020年春頃まで現在のきわめて低い長短金利の水準を維持することとしました。

マイナス金利政策のもと、T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、2018年9月まで概ね-0.1%台で推移し、10月以降は良好な円調達環境を受け海外投資家等へ買い進まれ-0.3%台まで低下、その後期末にかけては-0.1%台まで上昇しました。また、無担保コール翌日物金利は期を通して概ね-0.06～-0.07%程度で推移しました。

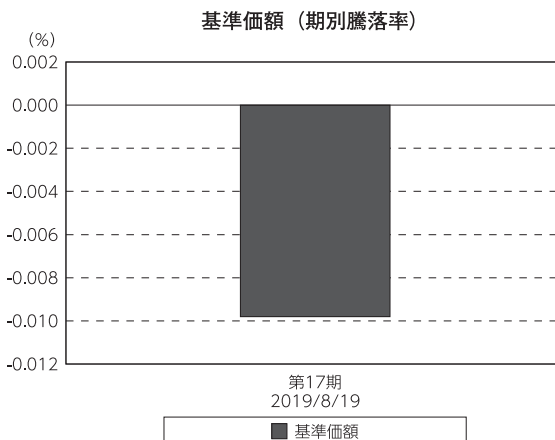
## ○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年8月21日～2019年8月19日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2018年8月21日～2019年8月19日)

### 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	6,812,723	6,812,701
	地方債証券	2,994,475	—
内	特殊債券	5,906,659	—
	社債券（投資法人債券を含む）	11,495,778	—
			(2,452,000)
			(7,940,000)
			(10,167,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分です。

\*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

### その他有価証券

		買付額	売付額
		千円	千円
内	コマーシャル・ペーパー	4,699,986	—
			(8,600,000)

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分です。



## ○利害関係人との取引状況等

(2018年8月21日～2019年8月19日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	20,396	1,141	5.6	—	—	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2019年8月19日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			未			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	1,156,000	1,157,903	13.7	—	—	—	13.7
	(1,156,000)	(1,157,903)	(13.7)	(—)	(—)	(—)	(13.7)
特殊債券 (除く金融債)	700,000	700,671	8.3	—	—	—	8.3
	(700,000)	(700,671)	(8.3)	(—)	(—)	(—)	(8.3)
金融債券	350,000	350,021	4.1	—	—	—	4.1
	(350,000)	(350,021)	(4.1)	(—)	(—)	(—)	(4.1)
普通社債券 (含む投資法人債券)	2,800,000	2,804,925	33.2	—	—	—	33.2
	(2,800,000)	(2,804,925)	(33.2)	(—)	(—)	(—)	(33.2)
合 計	5,006,000	5,013,521	59.3	—	—	—	59.3
	(5,006,000)	(5,013,521)	(59.3)	(—)	(—)	(—)	(59.3)

\* ( )内は非上場債で内書きです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
<b>地方債証券</b>	%	千円	千円
大阪府 公募第330回	1.48	116,000	116,173
大阪府 公募第331回	1.41	100,000	100,269
兵庫県 公募平成21年度第23回	1.37	100,000	100,218
静岡県 公募平成21年度第4回	1.56	100,000	100,007
静岡県 公募平成21年度第5回	1.35	100,000	100,222
広島県 公募平成21年度第3回	1.41	140,000	140,196
福岡県 公募平成26年度第4回	0.135	100,000	100,016
岐阜県 公募平成21年度第1回	1.35	100,000	100,256
共同発行市場地方債 公募第79回	1.34	100,000	100,246
広島市 公募平成21年度第2回	1.35	100,000	100,262
鹿児島県 公募(5年)平成26年度第1回	0.153	100,000	100,034
小 計		1,156,000	1,157,903
<b>特殊債券(除く金融債)</b>			
日本政策投資銀行社債 財投機関債第46回	0.219	100,000	100,020
日本政策投資銀行社債 財投機関債第67回	0.001	100,000	100,000
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第53回	1.38	400,000	400,478
国際協力銀行債券 第16回財投機関債	2.07	100,000	100,172
小 計		700,000	700,671
<b>金融債券</b>			
商工債券 利付第771回い号	0.2	350,000	350,021
小 計		350,000	350,021
<b>普通社債券(含む投資法人債券)</b>			
中部電力 第492回	1.405	350,000	350,881
東北電力 第452回	1.405	100,000	100,489
九州電力 第423回	0.959	100,000	100,093
北海道電力 第319回	0.514	550,000	550,281
三菱東京UFJ銀行 第110回特定社債間限定同順位特約付	1.485	400,000	400,898
三菱UFJリース 第26回社債間限定同順位特約付	0.441	200,000	200,224
三井不動産 第37回社債間限定同順位特約付	1.493	100,000	100,484
東京急行電鉄 第69回社債間限定同順位特約付	1.7	200,000	200,594
東海旅客鉄道 第16回社債間限定同順位特約付	1.875	600,000	600,959
電源開発 第28回社債間限定同順位特約付	1.474	200,000	200,017
小 計		2,800,000	2,804,925
合 計		5,006,000	5,013,521

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 499,996	% 5.9

\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	5,013,521	59.3
その他有価証券	499,996	5.9
コール・ローン等、その他	2,944,648	34.8
投資信託財産総額	8,458,165	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,458,165,584
コール・ローン等	2,925,096,627
公社債(評価額)	5,013,521,293
その他有価証券	499,996,087
未収利息	7,780,208
前払費用	11,771,369
(B) 負債	4,506
未払利息	4,506
(C) 純資産総額(A-B)	8,458,161,078
元本	8,288,568,727
次期繰越損益金	169,592,351
(D) 受益権総口数	8,288,568,727口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,205円

(注) 期首元本額は13,238,234,160円、期中追加設定元本額は505,769,218円、期中一部解約元本額は5,455,434,651円、1口当たり純資産額は1.0205円です。

## ○損益の状況 (2018年8月21日~2019年8月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	46,233,836
受取利息	48,231,124
支払利息	△ 1,997,288
(B) 有価証券売買損益	△ 48,206,310
売買損	△ 48,206,310
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,972,474
(D) 前期繰越損益金	273,342,594
(E) 追加信託差損益金	10,418,721
(F) 解約差損益金	△112,196,490
(G) 計(C+D+E+F)	169,592,351
次期繰越損益金(G)	169,592,351

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	5,129,840,665
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家転売制限付)	2,050,866,611
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Dプライス(適格機関投資家専用)	424,221,200
野村世界高金利通貨投信	151,953,753
野村日本ブランド株投資(マネーボールファンド)年2回決算型	104,556,769
ノムラ・アジア・シリーズ(マネーボール・ファンド)	96,909,215
野村DC運用戦略ファンド	85,180,134
野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	49,354,623
ネクストコア	19,922,154

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村世界業種別投資シリーズ(マネーボール・ファンド)	10,607,461
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405
第12回 野村短期公社債ファンド	6,664,982
第9回 野村短期公社債ファンド	5,094,831
第2回 野村短期公社債ファンド	3,919,169
第1回 野村短期公社債ファンド	3,037,421
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(マネーボールファンド)年2回決算型	2,551,759
野村新エマージング債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	2,513,115
第5回 野村短期公社債ファンド	1,959,729



ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村グローバルボンド投信 Fコース	980,489
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 年2回決算型	980,297
ノムラ THE ASIA Bコース	979,912
グローバル・ストック Bコース	979,528
グローバル・ストック Dコース	979,528
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	946,340
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	774,485
第7回 野村短期公社債ファンド	686,093
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	491,401
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース) 毎月分配型	315,476
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース) 毎月分配型	277,875
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース) 年2回決算型	253,829
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	213,673
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース) 毎月分配型	123,377
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース) 年2回決算型	118,445
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	98,262
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース) 毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 年2回決算型	98,261
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース) 毎月分配型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 年2回決算型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース) 毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(インドネシアコース) 年2回決算型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース) 年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース) 年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース) 年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース) 年2回決算型	98,261
野村米国ブランド株投資(円コース) 毎月分配型	98,261
野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	98,261
第8回 野村短期公社債ファンド	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 年2回決算型	98,260
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース) 年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 年2回決算型	98,260
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース) 年2回決算型	98,260
ノムラ THE EUROPE Aコース	98,117
ノムラ THE EUROPE Bコース	98,117
野村グローバルボンド投信 Aコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Cコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Eコース	98,049
ノムラ THE ASIA Aコース	97,992
グローバル・ストック Aコース	97,953
グローバル・ストック Cコース	97,953

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース) 毎月分配型	54,497
野村通貨選択日本株投信(中国元コース) 年2回決算型	51,703
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース) 毎月分配型	48,092
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース) 年2回決算型	43,905
野村通貨選択日本株投信(中国元コース) 毎月分配型	41,316
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース) 年2回決算型	36,381
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース) 年2回決算型	13,741
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA向け)	10,000
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース) 年2回決算型	9,826
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース) 年2回決算型	9,826
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Aコース	9,818
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Bコース	9,818
野村日本ブランド株投資(米ドルコース) 毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース) 毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(米ドルコース) 年2回決算型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース) 年2回決算型	9,809
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	9,808
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 毎月分配型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	9,808
野村米国ブランド株投資(米ドルコース) 毎月分配型	9,807
野村米国ブランド株投資(米ドルコース) 年2回決算型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	9,807
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	9,805
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース) 毎月分配型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース) 年2回決算型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース) 年2回決算型	9,803
野村新興国高配当株トリプルウィング ブラジルレアル毎月分配型	9,803
ピムコ・世界インカム戦略ファンド(円コース)	9,803
ピムコ・世界インカム戦略ファンド(米ドルコース)	9,803
ピムコ・世界インカム戦略ファンド(世界通貨分散コース)	9,803
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり) 毎月分配型	9,797
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース) 年2回決算型	4,908
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース) 毎月分配型	1,813

## 〇お知らせ

該当事項はございません。

「野村グローバルCB投信（バスケット通貨選択型）」（マネープールファンド（年2回決算型）を除く）の  
お申し込み時の留意点

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2019年9月20日現在)

	「円コース」 「資源国通貨コース」	「アジア通貨コース」
2019年9月	－	－
10月	－	1、2、3、4、7、8
11月	1、11、28	1、11、28
12月	24、25、26	24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。